

代畑行政区総合計画

将来像 「地域文化を知り 楽しみ 伝えて」活力を創り出す代畑地区」



汗かき地蔵

平成26年度～平成30年度

代畑行政区

現状と課題

- ① 伝統文化の継承
- ② 地区内の交流
- ③ 特産物のPR
- ④ 田園風景の保存



行政区の将来像

地

域文化を知り 楽しみ 伝えて
活力を創り出す代畑地区

行政区のスローガン

ドンドン集まれ ドンドン汗かけ

ドンドン花咲け 代畑に響く元気の音

具体的な取り組み

基本目標1 「伝統文化の継承とにぎわいある地域づくり」

取り組み	担 当	スケジュール
① 汗かき地蔵の保護と活用 パンフレットの作成 村広報誌でPR 案内標識の設置(村と協力) 汗かき地蔵紙芝居等の作成(小学校と協力) (小学校等の遠足コース、村散策の見学スポット等)	行政区	平成26年度～
② 汗かき地蔵太鼓の伝承 有志等により、汗かき地蔵太鼓の伝承 (地域文化を知り、伝える)	行政区	平成26年度～

基本目標2 「特産物を活用した地域おこし」

取り組み	担 当	スケジュール
<p>① 花ハウスの見学</p> <p>忙しい時期を除き、予約者等を対象にハウス内の見学を行う。</p> <p>(見学会ツアー、体験学習等)</p>	地元生産者等	平成26年度～
<p>② 軽トラ市で特産物の販売</p> <p>忙しい時期を除き、年数回軽トラ市で花などの直売を行う。</p>	地元生産者等	平成26年度～

基本目標3 「自然を活かした地域づくり」

取り組み	担 当	スケジュール
<p>① 遊歩道の管理</p> <p>遊歩道の草刈りを年1回程度行う。</p>	行政区	平成26年度～
<p>② 憩いの場整備</p> <p>地区内の数カ所に「憩いの場」としてベンチ等を設置する。</p> <p>(高台から見下ろす田園風景、桜鑑賞、やすらぎ)</p>	行政区	平成26年度～
<p>③ サイクリングロード整備の陳情</p> <p>村・関係機関にサイクリングロード整備の陳情を行う。(吉岡橋～滑津橋の区間等)</p>	行政区	平成26年度～

資料編(代畑行政区)

汗かき地蔵

(村指定文化財第1号 昭和50年3月25日指定)

代畑地内北西部にある小堂宇の中に安置されたもので、坐像の石地蔵である。建武二年(一三三五年)に建立されたもので、石地蔵の高さ一七〇センチメートルにおよぶものである。

古来事変などの起こるとき、この地蔵の五体から汗がふき出すとの伝説があり奥州汗かき地蔵として知られ、参詣人群れをなしたが維新以後衰退してしまった。堂の入口に享保九年早山清左エ門伊次作と刻まれた鰐口があげられている。

平成十九年十二月には、福島遺産百選選定委員会から「福島遺産」に認定されている。

御城地内磨崖仏阿弥陀坐像並びに石造塔婆群及び石仏群

(村指定文化財第4号 昭和55年7月19日指定)

御城(代畑)と称される滑津氏の館跡の磨崖仏は、県下で早くつくられたと県史に記されている。

阿弥陀像は、健治四年(一二七八年)に一結衆によって刻まれた線彫絵姿仏にして、県内では珍しい磨崖浮彫像である。

石造塔婆群は、鎌倉中期から室町初期にかけての豪族たちの供養塔である。

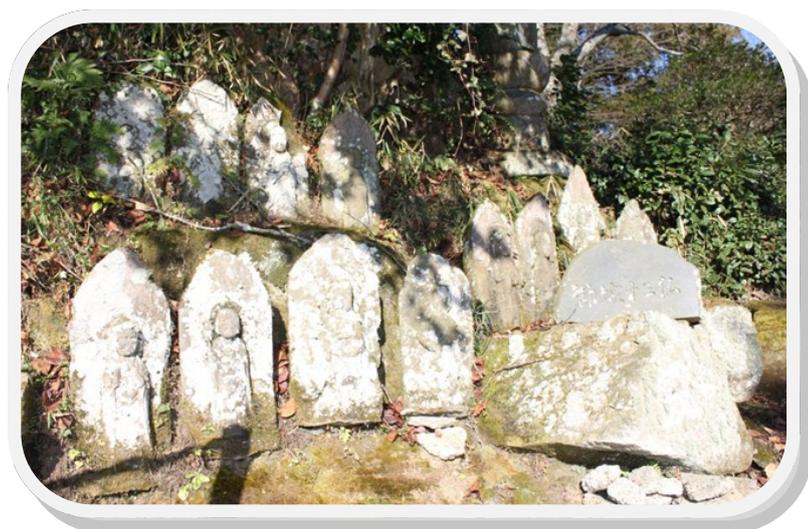
石仏群は、もと旧白山大権現社境内に安置されていた十三観音菩薩像で、明治維新の神仏分離の際に棄却された石仏である。

代畑行政区の地域資源（お宝）

文化財



汗かき地蔵



石造塔婆群及び石仏群



汗かき地蔵



平成21年度森林環境交付金事業で整備された遊歩道



高台から見下ろす田園風景

代烟行政区